

ノ指導下ニ燃起ナル有志ヲ以テ團結シテ、アリ
 (2) 八月二十七日、臨時二十分會於砂町八右工内所、在
 演藝會、演劇、批評演說會、周々聴衆三百名ヲ得、シレノ聲士。
 加藤勲十、浅沼稻次郎、難波第一等十一名、何レモ資本主義
 並ニ工業主ヲ攻撃シ、窮極ノ取締ヲ非難シ、争議必勝ノ爲、團結
 ヲ鞏固ニスヘヤ旨ヲ力説、煽動ス。

(3) 九月七日、争議團員約二十名ハ組合幹部小林範治ニ引率サレ
 丸ノ内海上ビル内高千穂商會ヲ訪問シ、代表社員頭田國雄ト
 會見、(一)工場用領解度及對、(二)赤拂貸金、即將支拂、
 (三)賃金値下及對、ノ決議文ヲ示シ、出資者タレ商會ノ責任ヲ
 難詰シテ去ル。

(4) 同日、管順等三十一名又銀座米中商店(團トノ支入關係ニテ
 出資セル商店ニシテ松村昇支配ス)ニ至リ、工場再開、爲登
 カセラレ度シト喚願シテ去ル。

一、事業主側

同社長ハ相當ノ誠意ヲ以テ解決ニ努カシツ、アレモ金策ニ窮
 シ各代表社員等ト協議ヲ進メツツアリ、八月二十一日、争議團
 ニ手交セル證書ニ基キ、赤拂借貸金八百円中二百円ヲ九月二
 日支拂ヒタリ

一、交渉状況

- (1) 従業員側ハ八月十七日要求書(既報)ヲ同社長ニ提出シ、即時
 答返ヲ求メタレモ、社長ハ之ヲ拒絶
- (2) 八月二十一日、争議團代表難波第一外従業員三十名ハ工場ニ
 社長ヲ訪ヒ、別紙回答案ニ署名捺印セシメタリ
- (3) 八月二十四日同様、會見ヲ工場内ニテ行ヒ、工場ノ再開ヲ迫
 リタレモ、社長ハ即答ヲ避ケ、何等應ジ所ナシ
- (4) 八月二十八日同様、會見ヲ行ヒ、タレモ事業主ハ工場再開ノ
 已ハナキヲ主張シ、争議團側ハ同領及對ヲ称ハ、何等進展スレ